

朝日新聞(千葉版)

問題いじめ

自民、防止条例案提出

県教委は基本方針策定へ

「いじめ防止対策条例案」成立する見通し。一方、県議会の発議を検討していた自民党県議団は25日、2月議会本会議に同条例案を提出した。民主党、公明党、みんなの党などが賛成方針を示しており、今議会で可決、

ウェブサイトになどに悪口を書き込む「ネットいじめ」の監視強化も明記し、各施策を進めるため「県は必要な財政上の措置を講ずる」とした。

提案理由を説明した同党の関政幸議員は「いじめは絶対に許されるものではない。今この瞬間もいじめに苦しみ、助けを待つ子どもがいるはず」と力を込めた。

文部科学省の調査によると、県内の小中学校、高校などで昨年度中に把握されたいじめは過去最多の2万1028件。同様な条例化の動きは北海道や山形県でも進んでいる。

いじめ防止条例案を提出

県議会 可決なら都道府県初

議員発議で

県議会は25日、開会中の本会議に議員発議で「県いじめ防止対策推進条例」案を提出した。可決されれば、いじめ防止を目的とした包括的な条例は都道府県では初めて。条例の素案は自民党が策

定し、民主、公明、みんななど7会派の共同提案となつた。政策的な条例の議員発議は6件目となる。

条例の対象は、小学校、高校に通う児童または生徒で、県外の学校に通う県内在住者も含む。県教委に調

査権限のある「いじめ対策調査会」を設置▽市町村教委や県警による「いじめ問題対策連絡協議会」の設置、▽スクールカウンセラーの確保と配置――などが特徴。

提案理由を説明した関政幸議員(自民)は「子どもを守るため、県、市町村、県民の役割を決め、子どもが悩みを抱え込まないようにした。子どもは時にはいさかいを通して成長していくが、いじめは絶対に許されない」と述べた。

いじめ防止条例案提案

県議会に超党派 県外通学も対象

いじめの防止や発生時の対策を効果的に行えるよう、県の関与を強める「県いじめ防止対策推進条例案」が25日、開会中の県議会2月定例会で議員提案された。全国でいじめが相次いでいることから、対象を県内の学校

策に取り組むネット監視団体への県の支援▽重大事案について、県教委の調査とは別に知事権限で調査できる――などを盛り込んだ。県議会事務局によると、同様の条例は市町村ではあるが、都道府県にはないという。千葉県以外では北海道で制定の動きが進んでいる。

【宮地佳那子】

県いじめ防止条例成立へ

いじめの相談を受けるスクールカウンセラーの確保やネットいじめ対策を盛り

読売新聞
(千葉版)

込んだ「県いじめ防止対策推進条例案」が25日、県議会2月定例会に提出された。条例案をまとめた自民党に加え、民主、公明、みんな、千葉県民の声、生活、いんば無所属の会の計7党派が提出者に名を連ねたため、可決、成立の見通しだ。

県いじめ防止対策条例の発議案上程

県議会の自民党派議員らが中心となってまとめた

読売新聞 (千葉版)

「県いじめ防止対策推進条例」の発議案が25日、開会中の2月定例会に上程された。発議案は、いじめを防止するために県の責務や県民ら関係者の役割を規定し、関係機関の連携を強化する「県いじめ問題対策連絡協議会」の設置を明記。また、クラス替えなどでいじめが起きやすいとされる4月を「いじめ防止啓発強化月間」として、県民全体で問題について考えるとしている。

発議案には自民のほか、民主▽公明▽みんな▽県民の声▽生活▽いんばの計7党派の議員らが名を連ねた。議会では提出議員を代表して関政幸県議(自民)が「子供たちは時にいさかいを通して価値観の違いを認識し、社会性を学びながら成長するが、いじめは絶対に許されない」など趣旨を説明した。発議案への質疑は4日の一段質問終了後に行われる。